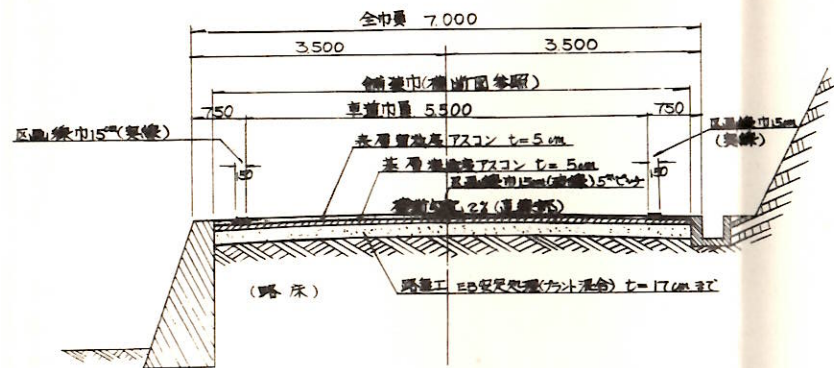
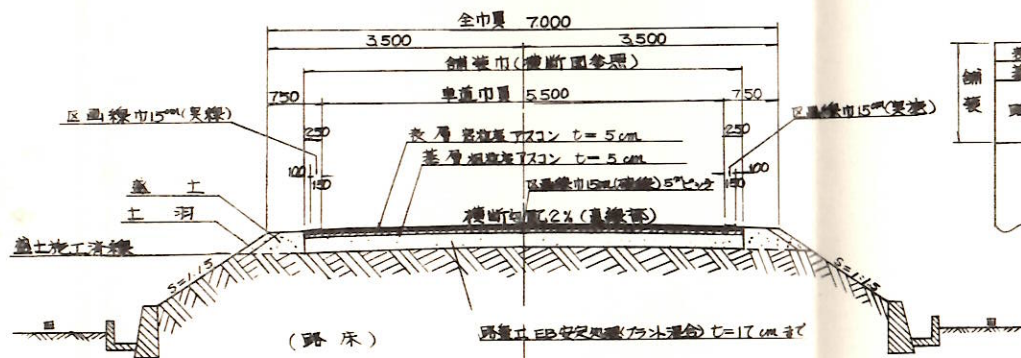


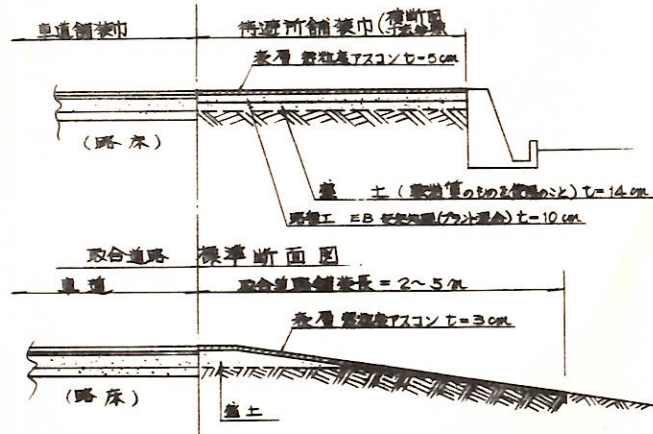
標準断面図 S=1:50
(路肩がコンクリート構造物の場合)



標準断面図 S=1:50
(路肩が土羽工の場合)

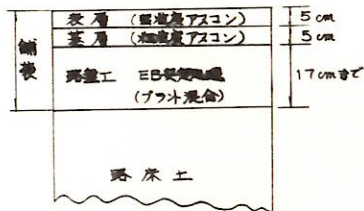


待避所標準断面図

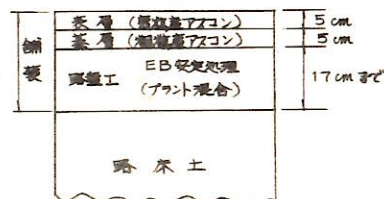


取合の末端は、現地の状況により調整すること。
細部については、最良と事前に打合せ済みの場合とす。

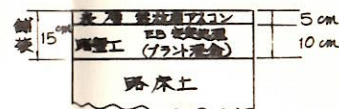
舗装工施工断面図



舗装工施工断面図



舗装工施工断面図



10t当りのアスファルトコンクリート標準配合材料表

工区	使用する位置	用途	種別	最大粒径 (mm)	仕上り厚 (cm)	粗骨材量 (m³)	細骨材量 (m³)	石油量 (t)	アスファルト量 (t)	備考
	車道	表層	厚さ層アスコン	13	5	371	252	0.63	0.63	設計厚=25cm
	待避所	表層	厚さ層アスコン	13	5	371	252	0.63	0.63	

(注) 実施前に配合設計(現場)を行なう。(仕様書参照)

10t当りのソイルセメント(EB工法)標準配合材料表

工区	使用する位置	用途	種別	仕上り厚 (cm)	EB-CX (kg)	セメント (kg)	山土 (m³)	備考
	車道	路盤工	EB安定処理 (フォット混合)	17	12.75	0.55	5.32	(1) フォット混合配合比 山土 1.0 EB-CX = 0.25 t セメント = 5.4 t 最大乾燥量 = 1.950 t

(注) 実施前に現場配合設計を行なう。(仕様書参照)

ソイルセメント(EB安定処理)工程

工区	使用する位置	用途	種別	区分 (1層仕上り厚さ)	機械名	作業回数	作業内容	備考
	車道	路盤工	EB安定処理 (フォット混合)	17cm まで	モーターブレード	1.0	グラブで運搬したEB混合物を敷き均す。	混合物と敷き均すに現地の不整を考慮し、グラブローラーで均し、グラブで両面を整理する。再びローラーで充分転圧し、マカダムローラーで2回転圧する。アスファルト(養生)を敷く。
					タイヤーローラー	10.0	再びローラーで充分転圧し、マカダムローラーで2回転圧する。	
					マカダムローラー	5.0	アスファルト(養生)を敷く。	
					エンジンローラー	1.0	アスファルト(養生)を敷く。	
					スプレアー	1.0	アスファルト(養生)を敷く。	

注意事項

- 各工区において、路盤工(EB安定処理)の厚さ、路床改良工(EB安定処理)の厚さ違い、及び不施工の場合があるので十分注意のこと。(計算書及び横断面図参照)
- 縦断勾配の変化点附近は、縦断曲線と設置すること。(計画縦断面図参照)
- 横断勾配は、2%(直線部)であるが、曲線部及び複合セグは片勾配となっているので、注意すること。(横断面図参照)
- 路肩部盛土の締固めは、原則として機械転圧(タンクローラー)とし、1回の仕上り厚さは10cm以下とする。
- 区画線は「深層式」市15cm厚さ1.5mm以上、ガラスビーズ混入15%とする。施工については、乗深量と事前に打合せ(施工区間延長、その他細部について)と必ず行ない指示に従うこと。

図面の名称		図面番号
豊野地区大橋橋脚補修工		
縮尺 1:50		
測量	昭和 年 月 日終了	
設計	田村 滋	
製図	田村 滋	
原図	田村 滋	
複写	田村 滋	